

# 事務局長基本方針

事務局長 岩田 浩平

堺高石 J C は近年、一般社団法人への移行や J C 会館の取得など、運営面で大きく変化しています。今まで以上に透明感のある運営を保ち、市民に慣れ親しんでもらえるような組織へと進化していかなければなりません。効果的で健全な財政の出動と法令順守を実施し、J C 会館の効率的な運用をおこない、対内外に運動の方向性と成果を迅速に示し、運動を側面的に支援する運営をおこなうと共に、地域と友好的な連携をおこない、堺高石 J C らしい壮快な運動と秩序ある運営が両立する組織運営を構築する必要があります。

まずは、効果的で健全な財政管理体制を確立し、法令順守を実施するために、厳格な財政規則審査をおこない、費用対効果と財政支出が適合した運営をおこないます。つぎに、J C 会館の効率的な運用をおこなうために、定款・諸規則・諸規程を順守し、運営資料を有効活用し、メンバー同士の情報共有の場としての活用のみならず、市民に対しての情報発信の拠点としての透明感のある J C 会館の管理運用を発展維持していきます。さらに、対内外に運動の方向性と成果を迅速かつ明確に示すために、J C 運動をスピーディーに情報発信し、多様な I T の活用効率をさらに引き上げ、迅速かつタイムリーな情報伝達のできる運営をおこないます。また、運動を側面的に支援する運営をおこなうために、日本 J C ・近畿地区協議会・大阪ブロック協議会・各地青年会議所の情報を収集・発信し、効率的で効果的な委員会運営ができる環境を整えた事務局運営をおこないます。そして、地域社会と友好的な連携をおこなうために、各種諸団体との情報の共有と関係の強化に努め、より多くの市民の皆様が来館しやすい会館運用を実施し、各事業が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を構築していきます。

メンバーの情報共有や対外への情報発信の精度を向上させ、市民の皆様にも慣れ親しんでもらえるような明るい豊かなまちを創造していく団体としての運動をメンバーがおこなえる有機的な事務局運営をおこなうことが、安定的な組織運営を生み出し、対内外に発信力のある堺高石 J C らしさを盤石にしていくのです。